寺崎組新聞

発行所　寺崎組新聞社

ナチュラル終る

これがアウトライダーの元となった本の表紙。昭和五十九年五月発行された。

平成五年三月号をもってナチュラルツーリングは終了することになった。創刊準備号から始まった長期連載、全八十一回の歴史に終止符を打つことになった。組長の楽しく、臨場感あふれ読者に感動をあたえつづけくれた文がしばらく読めなくなることは、ただでさえ低迷を続けるバイク雑誌業界にとって大きな損失となるだろう。今回休止（あえて休止と言いたい）になった背景には、読者の様変わりがある。裕福になったせいか以前ほど貧乏旅行をする人が減っているということもある最近のアウトライダーも旅というよりもバイクを使った旅行と言う感じでもある。つまり寺崎勉の旅はアウトライダーの一般的読者には受けいられなくなりつつあるようだ。まあ他にもいろいろあるんだろうけどこんな要因が重なり休止になったと推測する。

追伸、組員の心配事は組長、その妻及び夫が路頭に迷うのではないかと思うかもしれないが、現在マウンテンバイクによる旅の雑誌に書いているようだし（春に発売）、各種単行本を集中して執筆できるようだし、まあ何とかなるだろうとは大方の予測である。

もあり、日本全国に深い憂慮の念が渦巻いております。国民よ冷静に！と内閣よりのコメントも発表されました。

以上スージーでした。

列島震撼

ナチュラル中止の報は、列島を瞬く間に走り抜けた。町の声をお聞き下さい。

〈北海道の某自衛隊員〉

ナチュラル中止の報を聞き北部方面隊は、道民の安全確保の為、緊急配備についた事を確認すると共に、野宿者達に事態を冷静に判断する様、呼びかけています。北海道は冬の寒さ以上に、野宿文化の消えようとしている現実に震えています。

〈東京の某税務署員〉

国税当局は、野宿者が寺崎氏ナチュラル降板の影響を受けて、外に出なくなる事に憂慮をしています。何故ならば都会をさけ、人里離れた何でもありの雑貨屋に出入りする彼らは、村起こしの先峰であると共に、酒税、ガソリン税等の大口納税者であるからです。野宿者が失意の果てにカラオケボックス等に沈むのを国税当局は心配しています。

〈千葉の営団職員〉

営団地下鉄は某月某日始発より、時限ストを計画中であります。

〈大和の某KDX乗り女性〉

私は、タイの国王に言いつけちゃうわ。

〈道連れ某カメラマンの厚ちゃん〉

温泉に出かけて、ギャルの写真を撮りまくると悲しい表情でありました。

〈毎日新聞社の某スージー〉

野宿の将来と寺崎氏の旅について、キャンペーンを計画中です。

その他、某でいくが町のいたる所で鋸と、とんかちで暴れているとの報道

組長ON&OFF出演！

来る3／6、テレビ東京系列18：30より「厳冬期北海道ツーリング」が放送されます。

視聴率アップの為、知人・友人・親類縁者等に触れ回ること（ノルマ：組員一人あたり十名）。

大菩薩、セクハラ、の夜は更けてゆく！

第二十九回組会

第二十九回寺崎組組会は、山梨県は大菩薩峠（旧峠）の今回だけ五つ星に早変り？賽の川原でどうにか快晴の中行われた。スタコラ、スタコラ山登りの後、汗を拭うまでもない極寒の地へ集まった酒の商人たちをまずは紹介。

ナ、ナ、ぬわあんと（何と）今回の一等賞は「組会全部参加してるぜ！」と鼻高々の寺崎組長。ま、この事実は置いといて……。組長の後塵を拝しながらも冷静沈着、虎視眈々、清廉潔白とは仮の姿で登ってきたのは群馬の酔狂マヒ橋本。自慢の健脚でうんとこどっこい、すっとこどっこいと登って来ましたとさの、すっとこどっこい東京都下山本。酒だけでは飽き足らず焼肉ジュウジュウごちそうさんの千葉の市川分母川瀬、と歌もなくちゃいヤヨ！の分子諏訪野。黙々天麩羅揚げ終わりや中島みゆきを黙々歌う、何も言うまい言わせまいの東京地下鉄前原。コロコロまん丸トム通信の末弟として登山も頑張る肉ズレじゃなくて荷崩れ佐藤。酔っぱらいの集団に「酔っぱらい」と呼ばれる気持ちとは！？可哀相だがやっぱりそう呼ぶしかない群馬酔っぱらい金子。「休もうよ～」と声を掛けどうにか一人追い越せたやっと来たかの埼玉本田庄司。中央道でガス欠し本田庄司に騙された東京都下ノーポイントマン点無し原田。みんなに「お義兄さん」と呼ばれつつも妹の事をなかなか明かそうとしない茨城院内感染青木。

青木の友人とは思えない静かさでこれからの活躍を期待したい茨城特別参加の鈴木。久々の登場で、あれよあれよと結婚しあれよあれよと子供ができてあれよあれよと登って来ました神奈川あれあれ阿南。山に来なけりゃこいつにゃ会えぬ軍歌歌わしゃあっしが一番登山限定参加の神奈川県網走松田。罵詈雑言と歌の絶叫の中で、大あくびをかますと言う実に正常な反応を示す千葉梶浦。短期決戦なら群馬の酔っぱらい二人でも敵わない千葉房総（暴走）野口。これらの組員に加え、組長、坂戸（ケン）氏、カメラマン沢海氏までが日没前に登場し、あまりの寒さに（マイナス十℃前後）非難小屋での宴会と相なった。しかし、冬山のしかも夜、まだ登山道を登っている組員がいたとは……！？

チャンチキ気分の小屋に最初に登場したのは、北海道帰りの髭ぼうぼうで何かの毛皮を尻にくっつけた（？）東京世土橋飯田。一升瓶二本ぶら下げて、やってきましたはつらつねえちゃん、神奈川いまはタイ康井。「そろそろ歳がこたえる」というわりには夜の登山行に挑んだ愛知若いつもり久保。待ってました！NEWカメラにNEWテント、バイト成金も終わったねの神奈川ハズシの堀沢。この人に夜道で会わずに良かったなのマンモスじゃなくてカバ三重秋山息子。以上組員十九名に特参一名、スタッフ三名による極寒の組会は盛り上がりに盛り上がったのであった。

「蛍の光」「贈る言葉」でみんなに強制退去させられた「諏訪の～御柱は～」暴走野口。初めて一周した「オ、ブレ～ネリあな～たの」シリーズ。余りの寒さに死の恐怖に耐えきれずにとうとう発狂したセクハラ金子。セクハラも何のその酒がありゃこわいもんはないわとひたすら飲む泉ちゃん。沢海さんのリクエスト攻撃になんでも答える網走&金子。とにかくなんでもがなりたてて歌う農耕馬&世土橋。狂乱の小屋内宴会の夜は暮れていくのであった……。

明けた日曜日、快晴に恵まれて全員生きていることが確認された。よかったよかった。と組会も終わりに近づいた頃、仕事で一日目来れず二日目にアタックして8ミリひっさげてやって来ました神奈川亡霊元。三脚担いでえっちらおっちら、凍った林道をF1級ですっ飛ばす神奈川のセナ、スージー須藤。下山前に少し曇ってきたがなんとかもちこたえてくれて、めでたしめでたしであった。次回は記念すべき第三十回、所は恒例も恒例極々寒の小武川林道。皆様それまでお体気を付けて！

記・本田・原田

沢海さんを痩せさせる会に友好団体現わる！

最近，組内の「痩せる会」周辺が色色と動き出した様だが、この度新しい派閥が誕生した。内容は沢海さんのあまった肉をもらう会……その名も「痩せぎす3Mの会」

発足人の167号病弱の元は今夏の猛暑と激務に倒れ、一週間の入院。おかげで2kg減の63kg！！となってしまった。（因にボディサイズは身長180、B90W73H90である）

このままでは今冬の野宿ライフを無事過ごせるかどうか甚だ不安である。

#会名の「3M」とは、エッグでつくるスプレー糊の製造元……ではなく「More・More・Meat」の頭文字である。

うなぎ石原氏、キャッシュカード泥と間違われる！

去る十一月十九日昼頃、名古屋市熱田区六番町の東海銀行六番町支店自動振込機前に於いて、岡崎市保母町のうなぎ石原さん（24才）がオンラインで結ばれている筈の岡崎信用金庫のキャシュッカードで引き出しをしようとしたところ機械がこれを拒否。うなぎ石原さんが何度も試みているのを同銀行員が不審がり警備員を入口に待機させた後、うなぎ石原さんに近付き声を掛けたところ、ただでさえカード引き出しに馴れていなくてビビっていたのに加え、いきなり声を掛けられた為に、たまたま脇の下に吊っていたブローニングハイパワーを条件反射で抜きかけて一時危険な状態となったが、お互いの事情が判明し事無きを得た。同銀行員Aさんの話しによると、うなぎ石原さんは無精髭をはやして帽子を目深にかぶり、防犯カメラを気にするなど不審な行動をとっており、客観的に見ても怪しかった為にこの様な措置をとったそうである。

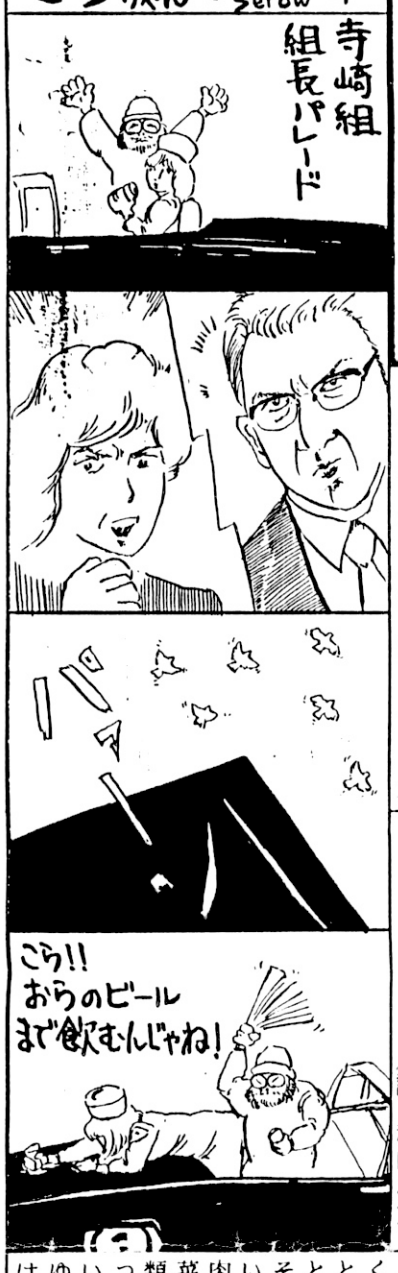
うなぎ石原さんの話、「東海銀行ともあろうものが信用金庫と結ばれていない機械をあたかも使えるがごとく設置する事自体おかしい。キンチョーしている時に、しかも金がらみの時にいきなり背後にまわる方が悪い。撃たれなかっただけマシだ。…機械をブッ叩いたのはチトマズかったかな」

ちなみにうなぎ石原さんは、結局同銀行では引き出しをせず、向かいの「へきしん（僻地信用金庫？）」で八千円引き出した模様。（三河通信伝）

～とーかいBANKなんてでえーきれえだあぁー!!　あやしくてわるかったなー!!　きしょーめ!!～

（うなぎ）

モデルガン専門店
HARTFORD
目黒店（駅前）03-3445 9757
名古屋店 052-661 9250
デレクター 石原克巳まで
無鉄砲



カバクン「ストーブインプレッション」

～EPIアルパインストーブ～

私が買ったのは出てすぐのものでホースの色がオレンジのものです。その時は自動点火装置付のものは発売されていませんでした。

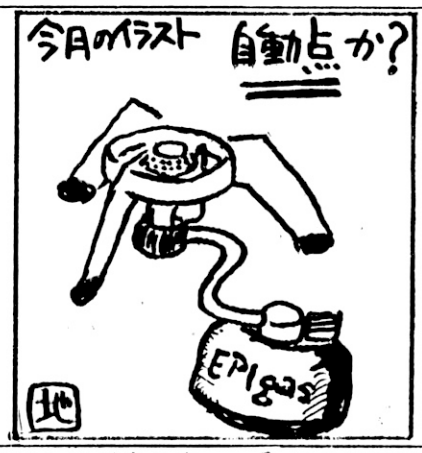
サイズ タタムとそこそこ小さくなるのですが、ケースがかなり大きく付属のケースを使うかぎりコンパクトとは言えません。又ホースもあまり小さく曲げると折れる心配があるのでそう小さくはなりません。

たたんで バーナーヘッドを外して出来るかぎり小さくなるようにすると思いの外手間がかかること。あたり前ですが熱いうちはたためません。バーナーヘッドを外さないとかなりかさばります。外すとノズル部やネジ山が剥き出しになり、他の五徳や風防と当たって損傷しそうです。

セットして 五徳の位置は大小二段階に切り換えてセットできます（あまり差はありません）重心が低く、大きなナベも安定して乗せれます。また燃焼部とボンベが離れているため、五徳にナベを乗せたままボンベの交換が出来ます。

聞くだけで カタログでは火力はかなり強いはずですが、あまり強力な感じは受けません。また火力を下げるとしばらくは良いのですが直に立消えします。何回調整しても、掃除してもダメ。販売店に問い合わせても「そんなものです」とのこと。また全開にしていてもタンク残量が少なくなったり、寒冷時は同様に立消え。どうもホースの部分で圧力が逃げたり、一度気化したガスが冷えてしまったりするらしい。対策としては炎の直ぐそばにボンベを置くことくらいですが、明らかに危険。何だか良く解らない新機構がついているようですが、その部分にガスが届く迄に圧力が下がって意味が無い。（アルパインストーブ）とは名ばかりで、夏のファミリーキャンプ程度にしか使えない。アイディア倒れの欠陥品というのが結論です。

その他 オプションの自動点火装置をあとから付けたのですが、どう調整しても火花が飛ばず役立たずです。点火装置そのものの問題ではなく、その装着位置が離れすぎてしまうためのもの。また火力調整ノブとバーナーが離れているので、火力調整はワンテンポずれます。・・・現在はホースも変わり、自動点火装置もきちんと作動するようですが、果たして？



組員の方へ このストーブがまともに機能しても、そのメリット（低重心、ボンベが交換しやすい等）がいきるのは大きなナベを使ったり、長時間調理する時くらいなものです。大ナベは焚火を使えば良いし、長時間調理をする時は大型ボンベを使えば間に合う。他のストーブより3～4割も高い意味が無い。これはバツです。

※あまりにもくやしいので、このストーブを使いたいという人に差し上げますが条件を二つほど

1、寺崎組々員であること

2、送料を払って下さること

この条件をクリアできる方に差し上げます。3回程使用、箱・ケース・取説自動点火装置付き、新同品です。

（記、秋山息子）

赤貧大王の野宿情報

その1三重県紀宝町井田の七里御浜海岸

熊野灘に面した七里御浜は松林の美しい砂利浜海岸である。北西側を紀伊山地と松林にさえぎられているため冬の季節風の影響を受けにくく、日当りのよい海岸である。食料品・酒・タバコ・ガソリンもすぐ近くで手に入る。水は近くのGSで分けてもらえばよい流木も山程あるので焚火も楽しめる。入口の数は多いが、ほとんどチェーンで入れない。唯一、井田地区の中華料理店あたりに2ヶ所だけ柵の間からバイクを入れる事ができる。道路からは全く見えず、下はフカフカの砂地。夏期には投げ釣り客が多く海ガメの産卵地でもあるので監視の見回りが多いので、冬場のみの使用に限られます。国立公園内の為、浜でバイクを乗回すなど言語道断であります。

その2　高知県大方町入野松原キャンプ場

無料のキャンプ場である。シーズンオフはシャワー室とトイレに施錠されるが、管理人に言えば開けてもらえる。広い砂浜には流木が山になっている。バイクのサンドプレイも楽しい。運動公園もあり、早朝野球やジョガーの姿も多い。『食』『酒』『煙』は5分以内。GSは20分くらい。10Km東側の海岸に温泉あり、300円くらいと思う？（忘れた）松に囲まれた暖かい所で、一周間ほど連泊してしまった。

その3　鹿児島県屋久島の栗生浜

砂浜と磯の両方ある海岸でカニや貝などの磯物が多くとれる。『食』『酒』『煙』『G』は5分以内。青少年旅行村のキャンプ場もあり、そちらも使えるが4～11月は有料になる。10Km程東側に有名な平内海中温泉がある。料金は寸志。東映映画のオープニングを思わせるロケーションで潮が満ちてくるとハゼがたくさん入ってきて泳ぎ回っている。ここは水着禁止の湯だが女性にも人気があり22才のすごい美人と混浴していまった。

今夜の献立

湯豆腐

湯豆腐はとても簡単な料理ですが、少し気をくばるとかなり充実します。まずはだし昆布！　少し切って持ち歩くと便利です。昆布は使う前よく拭くと言いますが、野宿者のタオルで拭くとかえって汚れるのでやめましょう（それは僕だけか？）。必ず水の時からいれてください。具は何でもOK、鳥肉が安くて量も多いのでおすすめ。野菜は量が少なくだしも良く出るきのこ類がいい。間違っても白菜なんかは買ってはいけません、三日間同じ物を喰いたい人以外は。最後にポン酢ですが、ゆかすが個人的には好きですが野宿者は醤油ですね。

記　地下鉄

～速報～

1、野宿塾inオーストラリア

参加人員決定！

飲酒運転ご一行様は以下の通り

隊長：寺崎『ブー太郎』勉

語り部：須藤『私もブー』義信

軍楽隊：庄司『ビール注ぎ』英臣

調理1：前原『ごまあえ』弘之

調理2：川瀬『タプタプ』博

哀　愁：石原『タポタポ』克巳

酔　人：金子『セクハラ』徹

パシリ：角田『ビョージャク』元

またビデオ隊として坂戸（健）、沢海両氏。道祖神の佐々木氏（アウトライダー92年一月号参照）&現地人ドライバーの精鋭十二名で泥々の大陸（三月は雨季）を爆進することになった。

バイクはTT225&350，DR350&650の予定。

※因みに650には一番足の長い元が乗り、GXで林道を爆走する趣味のある酔金は場合によりZEP550に乗るかも～

個人の荷物はバイクに積む（普通のツアーは車に積む）が、サポートカーにはBEER用の冷蔵庫&薪を用意。

全行程2850キロ（最終日は何と一日600キロ！）全日野宿の予定。

出発は三月六日、成田到着は三月十五日。送迎&空港まで四輪でポーターを引き受けてくれる気前の良い暇人&餞別等は大至急連絡を！

定員締め切り迫る・・・・

オーストラリア道祖神支部によれば、バイク1台増加により定員1名の追加が可能との事。及び毎日須藤の仕事の都合により欠員が決定され合計2名の余裕が出てしまった。よって我こそはと思う人はパスポート所持が条件で2月26日までに申し込みを。

2、野宿塾inモンゴル

参加者募集中！

日程：第一団5／31～6／11

第二団6／11～6／26

各四名ずつ計八名

行程：北京経由ウランバートル（前後一泊ずつ北京のホテル泊）

費用：3万前後プラス野宿塾代

バイク：セロー　締め切り：2月中

寺崎組新聞社による電話攻勢により着着と集まりつつあるが、まだ若干の余裕がある。申し込みはお早めに。

※人員が揃わないとツアーが行われず、行われないと組長の取材ができず、取材ができないと組長が食いっぱぐれるので皆さん参加するように!!!!!

「寺崎組新聞の定期講読のお知らせ」

この新聞は年六回の発行を予定しております。年間購読料は二千円以上です。購読希望の方は何らかの方法（現金書留・郵便振替・普通封筒に入れて等）で送っていただければ幸いです。この新聞を永続させるためにも原稿ともども新聞制作のお手伝いにも来ていただければなお幸いです。

「原稿大募集のお知らせ」

良い子も悪い子も寺崎組もその予備軍も自分らしさを原稿で写真でマンガで自分だけの表現でしてみませんか？

送り先は左記

〒一八五

東京都国分寺市東元町三～二十九～七

スタジオエッグ寺崎組

寺崎組今年度野宿集会地

第三十回　一九九三年二月二十七日　山梨県韮崎市　小武川林道（砂利道になってすぐ滝のそば）

第三十一回　一九九三年三月二十日　熊本県菊池郡旭志村　鞍岳野営場（鞍岳登山口の下にある）

編集後記

●最近のモンはどうもピリッとしなくていけねえよなあ（大工）

●どうもその体の調子があのゲロ名でああまっちゃくビールづくのはまかせておいてね（本日）

●オーストラリア行くんで夜勤が続いてまして寝むたい（地下鉄）

●モンゴルへの道は日曜出勤と見つけたり（点検）

●みんな仕事しねーからなあまっちゃくおじさんは（元）

●モデルガンは実銃よりしっかりしてます（北勝）

●どせ私はオオカミさん（毎日）

●モンゴルでのバトルが見たい（殺金）